広報きゃんせ長浜
平成21年12月号

Contents

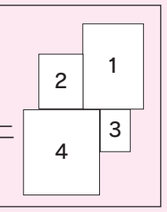
■特集「平成20年度決算報告」 2～7P
■執務室の移転、入札、国民年金 8P
■除雪、税 9P
■まちの話題 10・11P
■新型インフルエンザ、0次健診 12P
■お元気ですか（脳卒中について） 13P
■布団丸洗いサービス、障害者控除 14P
■人権ってなあに 15P
■多文化共生、地産地消 16P
■パソコン講座、長浜城、中小企業 17P
■インフォメーション 18・19P
■裏表紙 大河ドラマ「江～姫たちの戦国～」放映記念シンポジウム 20P

今月の表紙

ドイツ・プッペンキステ団が長浜で初公演

写真は、ドイツで最も有名で絶大な人気を誇る糸操り人形のプロ劇団「プッペンキステ団」の人形たちです。今回、長浜市とアウグスブルク市の姉妹提携50周年を記念して初来浜されました。11月14日の長浜公演（リュートプラザ）では、冨田人形共遊団が友情出演。伝統のある人形同士、これからの交流を約束しておられました。

1．プッペンキステ団の看板人形「カシュパル」
2．重量挙げに挑戦する人形
3．音楽に合わせてダンスするワニ
4．冨田人形とカシュパル



特集

平成20年度 決算報告

わがまちの家計簿をお知らせします

このほど、長浜市の平成20年度決算がまとまりました。みなさんに納めていただいた大切な税金が、どのように使われたのかを知っていただくため、その概要についてお知らせします。

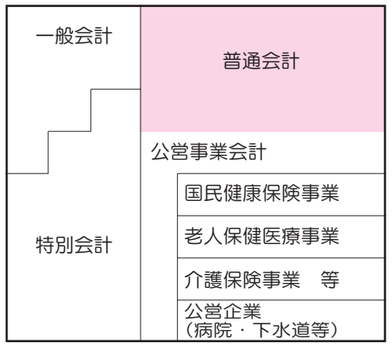
▼20年度決算の特徴

平成20年度は、「長浜市基本構想」（平成19年6月）に掲げた「協働でつくる輝きと風格のあるまち長浜」を実現するため、「①子育てや暮らしの安全・安心」「②地域経済の活性化」「③教育環境の充実」に重点的な予算配分を行い、施策を展開してきました。あわせて、「長浜市集中改革プラン」（平成18年12月）に基づき、持続可能な行財政基盤の確立に向けた取り組みを全庁挙げて行いました。

平成20年度における決算規模は、一般会計において、歳入が約334億円、歳出が約328億円となり、翌年度に繰り越すべき財源（約1億4千万円）を差し引いた実質収支は、約4億3千万円の黒字となりました。特別会計においても、国民健康保険特別会計を除いて黒字となり、全体として収支の均衡を保持しています。

●会計の決算統計上の分類

地方公共団体の会計は、一般会計と特別会計に区分されていますが、全国的に使われている共通ルールでは、普通会計と公営事業会計に区分して整理します。

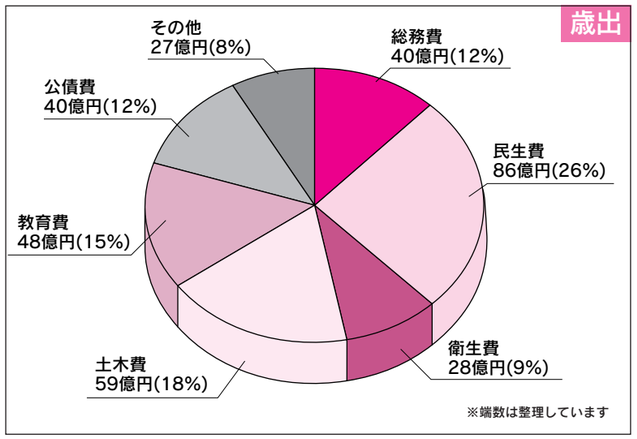


20年度　長浜市一般会計

歳出決算額327億9,379万円

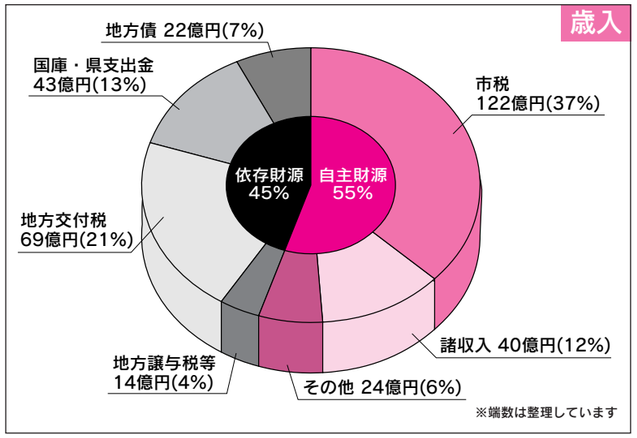
市民1人当たりに支出したお金
405，673円

区　分	内　　容	金　　額
総務費	統計、選挙、自治振興などに	49,445円
民生費	児童、しょうがい者等の福祉の増進など	106,497円
衛生費	健康管理、ごみやし尿の処理など	35,058円
土木費	道路、公園、公営住宅などの整備推進などに	72,565円
教育費	学校等の整備や文化スポーツの振興などに	59,168円
公債費	借りたお金の返済に	48,974円
その他	商業や農業の振興等	33,635円



※市民1人当たりの金額は一般会計の歳出額を平成21年3月31日現在の人口で割り戻した額です。

歳入決算額333億6,794万円

市民1人当たりの市税の負担
151，186円

市税総額：122億222万円